



# 延島っ子

発行者 延島小学校長 田村芳広

電話 49-0004 FAX 49-2761

## 卒業式号

『卒業』…終わりと出発を同時に表す筋目の言葉でもありません。延島小学校の卒業式が多くの方々の思いの中で厳粛に行われました。卒業生は緊張しながらも立派な態度で、自分たちの門出の式に臨むことができていました。

入場的时候は少し硬い表情でしたが、証書を受け取るときはしっかりと胸を張り、一人ひとり、私の言葉を聞いてくれました。そして、堂々と「ありがとうございました」を言うことができました。その立派な姿を見ただけで涙があふれそうでした。

式辞では、次のような内容を話しました。

### ◆一つ目 卒業証書について

『延島小学校』、『卒業』、『歴史』、『伝統』、『誇り』、これらを強調した話です。3校が統合されること、延島小学校の歴史が終わることを意識して、しっかりと記憶に残してもらおうという思いで話しました。

※校歌1番にも「～～長い歴史をこえてきた大きな誇りと～～」とあります。

### ◆二つ目 三つの『心』について

年間を通して伝え続けてきたことの確認と今後も『心』を育てることを続けなければならないということをお話しました。



### ◆まとめ

いろいろな人の思いを受け止めて卒業すること、延島小学校の卒業生であるという意識をもつこと、『心』を大切にすること、そして、強く生きていくことを話しました。

※校歌2番にも「～～我らは強く生きようよ～～」とあります。

『別れのことはば』では卒業生も在校生も真剣に自分の役割の部分の言うことができました。在校生が精一杯声を出している姿に、卒業生に対する思いを感じました。式中の歌も大変すばらしいものでした。6年生と一緒に校歌を歌うのも最後となってしまいましたが、今までで一番よい歌声だったと思います。

卒業式での「育てる心」を、

- 1 (卒) 延島小への思い、(在) 卒業生の気持ち、を考える(人を思う『心』)
- 2 参加の態度、きまりをしっかりと守る(強い『心』)
- 3 真剣に『別れのことば』を言う(本気で勉強する『心』)

と決めて、卒業式の練習開始から、全校で共通して指導してきました。子どもたちの「育った心」が形になって表れた式になったと思いました。

## 校長室での給食

卒業前の校長室での6年生との会食がありました。4名ずつ校長室に来て一緒に給食を食べました。3日間で終わりだったのですが、子どもたちがどうしてももう1ラウンドやりたいということで2回目の会食が行われました。2回目は、ドイツでクラスの子もたちとつくったキャンドル台を用意して、ろうそくの火をともして会食しました。



短い時間でしたが、いろいろ話をすることができました。

6年間で一番楽しかったのはやはり修学旅行だそうです。宿泊等もよい思い出だったようですが、3学期の昼休みに企画した、体力向上の運動遊びで、下級生と一緒にやったこともよかったと言ってくれました。最後のグループでは、校長室の戸棚の古いアルバムを取り出し、「〇〇さんのお父さんだ。」「これ、私のお父さん。」「これ、お母さんだ。」などと大変な騒ぎになってしまいました。考えてみたら、自分の親が延島小学校の卒業生で6年生の卒業のときのアルバムで写真を確認することなど、この学校ならではの事です。それも、この時期であれば、子どもたちにとって余計に感慨深いでしょう。

その後の昼休みは3日間連続で6年生と鬼ごっこです。「校長先生も来てください。」というので行きますが、必ず、「校長先生が鬼ね。」といつの間にか決まっています。3日間、給食を食べたあと走らされました。



卒業生の保護者の皆様、このたびは本当におめでとうございます。どのように育てたら、このような子どもたちができるのかとってしまうほど、すばらしい6年生でした。卒業式が大変立派にできたとはめてあげてください。また、長きにわたる本校教育に対する御支援と御協力に対し、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

にわたる本校教育に対する御支援と御協力に対し、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。